

検証 JR革マル浸透と組織私物化の実態！

民主化闘争情報 [号外] 2009年8月5日 発行 日本鉄道労働組合連合会 (JR連合) 【No.36】

JR総連は坂入事件の真相を説明せよ！

前号、前々号では、革マル派とJR総連の集団追及の手法が酷似していることを検証したが、坂入氏の拉致・監禁事件に話を戻したい。

JR総連は警察に告発状を提出し (No.31)、何度も記者会見を行った。また、傘下組合では、坂入氏を救出しようと、全国の駅頭などで組合員を動員して「尋ね人」「坂入さん救出にご協力を」なるピラを配ったりした。さらに2001年2月に埼玉県議会に救出の協力を要請する「陳情書」を提出し、県議員が質問したほか、3月には衆議院内閣委員会で民主党の中沢健次議員 (北海道比例) が質問し、警察庁長官に万全な捜査を要請した。このほか、JR総連は連合執行委員会で各産別に救出への協力を要請する発言もしている。

坂入氏争奪戦は、組合員や国会、地方議会も巻き込んでエスカレートしたが、外部の方々にはもちろん、JR総連の一般組合員にもわけのわからない騒ぎであったことだろう。

あまりにも無責任極まる「坂入事件」の幕引き！

ところで、JR総連が大騒ぎした「坂入事件」は、2001年8月9日、彼らが警察への告発を取り下げた後、2002年4月13日に本人が自宅に戻ったことで突然終結した。4月14日に坂入氏の妻からJR総連に連絡があり、15日に記者クラブにファックスで報告したらしい。5月15日に埼玉県警が記者会見を行ったが、あれだけ騒いだJR総連は、一転して、何の説明もしていない。当時、埼玉新聞に以下の記事が掲載された。

吉川の不明男性が帰宅 JR総連が発表

JR総連の元会員の男性 (62) が2000年11月から行方不明になっている事件で、JR総連は15日、男性が吉川市内の自宅に帰宅したと、男性の妻から連絡があったと発表した。JR総連によると、男性は13日夕方ごろに自宅に戻り、男性の妻が14日午前にJR総連に連絡してきたという。妻は「心身ともに衰弱していて静養させたい」と話しており、JR総連は男性の回復を待つ事情を聴くとしている。 - (後略) - 【2002年4月16日 朝刊】

帰宅男性から聴取 JR総連元会員失踪

JR総連の元会員の男性 (62) = 吉川市 = が2000年11月から行方不明になっていた事件で、県警警備部は16日までに、先月13日に帰宅した男性から事情を聞いた。男性は「自分の意思で行動した。刑事告発は自分が頼んだことではない」と話したという。 - (中略) - JR総連は男性の衰弱が激しいとして、事情を聴いていないという。男性の発言について、JR総連は「初めて聞いた。事情は分からない」と話している。 【2002年5月17日 朝刊】

JR総連は「男性の回復を待つ事情を聴く」と言ったそうだが、今日もなお、まったく説明もなく、彼らは事件に一切触れていない。これだけ世間を振り回しておきながら、無責任極まる対応には開いた口が塞がらない。「事件の原因は何か」「坂入氏は監禁中何をされたのか」「革マル派古参党員でJR労研中央事務局長なる坂入氏とはいかなる人物なのか」「九州労大量脱退事件は坂入氏らが指導したのか」など、JR総連が組合員のみならず社会に説明すべきことは山ほどある。坂入氏は組合員の前に出て、自ら真相を説明する義務がある。都合が悪くなると黙っ込むJR総連。革マル派との関係は真っ黒だ！

検証・JR革マル浸透と組織私物化の実態！はJR連合ホームページに掲載中！ <http://homepage1.nifty.com/JR-RENGO>